

# 三鷹市山本有三記念館 秋の朗読会

2013 年 11 月 3 日（日）  
18：00 開演



瀬戸口 郁



出 演 瀬戸口 郁（文学座）  
伊藤 安那（文学座）



作 品 「真実一路」 より抜粋



定 員 50 名 ＊入館券が必要です

## 【応募方法】

往復はがきに①住所、②氏名、③電話番号、④参加希望人数（はがき1枚につき2名様まで）、⑤何を見て応募したか、⑥返信用はがきに宛先をご記入の上、当記念館朗読会係までお送りください。

締切りは10月24日（木）必着。

＊お1人様1応募限り。応募多数の場合は抽選となります。



伊藤 安那

会場・申込先

三鷹市山本有三記念館

〒181-0013 東京都三鷹市下連雀 2-12-27

電話 0422-42-6233 ホームページ <http://mitaka.jpn.org/yuzo/>



## 出演者 プロフィール

瀬戸口 郁 俳優・脚本家／文学座所属

慶應義塾大学文学部卒業。『寒花』『華岡青洲の妻』『モンテ・クリスト伯』『女の一生』など文学座の舞台を中心に活躍。脚本家として『エゲリア』（文学座）、『真砂女』（劇団朋友）、ミュージカル『君といた夏』（可児市文化創造センター）など多くの作品を執筆。脚本作品『てくれっつのぱ』（劇団文化座）が平成20年度文化庁芸術祭大賞を受賞。東京藝術大学非常勤講師。

伊藤 安那 俳優／文学座所属

愛知県生まれ。2009年に文学座研究所に入所し、2012年『月の岬』（Pカンパニー）にて初舞台を踏む。『エゲリア』（文学座）、『今ひとたびの修羅』（シス・カンパニー）などに出演。2013年準座員2年となり現在に至る。

## 朗読作品 紹介

山本有三著「真実一路」

有三にとって5作目の長編小説。死別した恋人との子を身ごもっていた睦子は、父の取り計らいで守川義平と結婚する。長女静子、その後義平との間にも長男義男が誕生するが、律儀な夫が疎ましい睦子は家を出る。義平が病死したのを受け一度は家庭に戻った睦子だが、やがて家出し恋人と心中してしまう。

初出：「主婦之友」昭和10年1月号～昭和11年9月号（全21回）

初版：『真実一路』新潮社 昭和11年



## 三鷹市山本有三記念館

東京都三鷹市下連雀2-12-27 TEL 0422-42-6233

開館時間：午前9時30分～午後5時

休館日：月曜日 ※月曜日が祝日の場合は開館

10/15・16、11/5・6、12/24・25、

12/29～1/4、1/14・15は休館

入館料：300円（20名以上の団体200円）

【アクセス】

○電車

JR中央線「三鷹駅」南口より徒歩12分

JR中央線・京王井の頭線「吉祥寺」駅南口より徒歩20分

○バス

三鷹駅南口よりみたかシティバス「むらさき橋」下車徒歩2分

吉祥寺駅南口より小田急バス「万助橋」下車徒歩5分

